

DGAKI-JSA 2019 報告②

京都大学大学院医学研究科皮膚科学
中島沙恵子

DGAKI (ドイツアレルギー学会)-JSA (日本アレルギー学会) 第1回 joint meeting に日本側の若手研究者 (皮膚科・アトピー性皮膚炎領域) として参加したので会の概要を含めてここに報告します。本 joint meeting は、日本アレルギー学会とドイツアレルギー学会の相互の交流、ひいては国際共同研究などへの発展を期待し両学会間で協議の結果、開催が決定されたものです。

第1回 joint meeting は2019年11月29日・30日の2日間に渡って、ドイツ・フランクフルトで開催されました。ドイツ・日本両国からアレルギー疾患各領域の代表者が参加し (表1)、それぞれ30分程度の発表とディスカッションを行うというスタイルで行われました。密なスケジュールながらも、フランクフルト中心地から少し離れた静かで素晴らしいロケーションで参加者同士が親睦を深めることができました。また、筆者自身にとっては、アレルギー学会等に参加するだけでは知ることのできなかった研究領域の知識を得ることができ、それぞれの領域の第一線で活躍する研究者を直接知ることができたことも得難い経験でした。

筆者の研究領域であるアトピー性皮膚炎のセッションでは、ドイツ・日本両国の現在のガイドラインや治療薬の現状を共有し、現在筆者自身が遂行している基礎研究について Thomas Werfel 教授と意見の交換をすることができ、非常に有意義でした。今後はお互いの施設間で若手研究者の交流などを通じて国際共同研究につなげていくことを目標にしたいと思います。ただ一つ残念だったのは、自分の発表が2日目であったため、1日目の懇親会で思っきり楽しめなかったことです (これは自分の不徳の致すところなので仕方がない)。ちょうどドイツでは今年初めてのクリスマスマーケットが開催される週末であったため、最終日には参加者の先生とクリスマスマーケットに繰り出し、少し早いクリスマスモードを楽しみ、帰国の途につきました。

今回この素晴らしい joint meeting に参加するという機会をいただき、お世話になった出原賢治先生・浅野浩一郎先生をはじめとする日本アレルギー学会の先生方、参加をサポートくださった日本アレルギー学会事務局の皆様、また、現地で素晴らしいおもてなしを下さったドイツアレルギー学会の先生方・事務局の方々にこの場を借りて深謝申し上げます。

Subject	Speakers from DGAKI	Speakers from JSA
Basic Immunology	Harald Renz	Kenji Izuhara
Basic Science Immunology	Susanne Krauss-Etschmann	
Atopic dermatitis	Thomas Werfel	Saeko Nakajima
Bronchial asthma	Christian Taube	Hiroyuki Nagase
Prevention/Pediatrics	Eckard Hamelmann	Taiji Nakano
Food allergy/Lessons from the anaphylaxis register	Margitta Worm Katharina Blümchen	Sakura Sato
AIT/Allergic rhinitis/sinusitis	Martin Wagenmann Oliver Pfaar	Tomohisa Inuma
Venom allergy	Thilo Jakob	

表1 アレルギー疾患領域別の参加者